

平泉世界遺産登録7周年記念講演会

今年6月には、平泉世界遺産登録7周年を迎えます。これに当たり、岩手大学平泉文化研究センターは岩手県と共催で平泉記念講演会(兼第42回平泉文化セミナー)を下記により開催します。参加費は無料です。ふるってご参加ください。

考古学から見た

「京」の成立・変遷と平泉

大阪府文化財センター理事長
元 奈良文化財研究所所長

田辺征夫氏

趣旨:

平泉は、仏国土(浄土)を表す建物・庭園や遺跡群の高い価値が認められ、2011年6月に世界文化遺産に登録されました。古代から中世への転換期、京の都からはるか遠く離れた平泉の地に花開いた都市文化は、明らかに異彩を放つものでした。その特色は、日本が7世紀以来天皇を中心とした統一国家を確立し、それにふさわしい首都とした「京」の特色と変貌の歴史と対比したとき、より一層浮かび上がってきます。本講演は、平城京で完成したとされる古代都城の特質を中心に、その後の平安京における変貌を見据えて、平泉の魅力を探ってみようとするものです。

日時:平成30年6月23日(土) 13:30~15:30

会場:盛岡市遺跡の学び館研修室 入場:無料

主催:岩手大学平泉文化研究センター

共催:岩手県

協力:盛岡市遺跡の学び館